

令和5年3月
港文化小劇場催し物のご案内

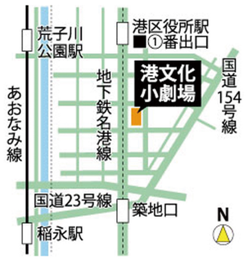
開催日	催事名	開催時間	問い合わせ先	入場料
2日（木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
8日（水）	みなとシネマ ～なつかしの邦画特集～ 「残雪」	開演　10:30 終演　12:10 開演　14:00 終演　15:40	港文化小劇場 052-654-8214	入場料500円 全指定席 友の会会員（前売りのみ）・障害者手帳をお持ちの方450円
9日（木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
11日（土）	20周年記念行事	開演　09:50 終演　15:30	港区ボランティア連絡協議会 052-651-0305 https://minato-shakyo-jp.secure-web.jp	無料 どなたでも入場可
19日（日）	青少年育成大日本吟剣詩舞道総連盟 吟剣詩舞道一吟会	開演　10:00 終演　17:00	大日本吟剣詩舞道総連盟 会長　岸興友 052-522-6747	無料 家族・友人等・関係者のみ入場可
24日（金）	第12回DMZ国際ドキュメンタリー映画祭 審査員特別賞受賞 「私はチョソンサラムです」	開演　未定 終演　未定	女性同盟名港支部 丁　未穂 080-4219-7559	有料 料金未定
28日（火）	名古屋市立桜台高等学校合唱部 スプリングコンサート	開演　14:00 終演　15:30	名古屋市立桜台高等学校 052-821-0186 https://www.nagoya-c.ed.jp/school/sakuradai-h/Z-3Bukatu.htm1#Gassyou	無料 どなたでも入場可
29日（水）	第13回　謝恩会	開演　16:00 終演　17:45	♪ ♫ ♬ ♭ ♯	無料 関係者のみ 要整理券 （入場整理券が必要）

※　予期なく主催者の都合により記載内容が一部変更になることがあります。
※　催し物の時間・内容が変更されることがありますので、詳細は各主催者にお問い合わせ下さい。



港文化小劇場

名古屋市港区港楽二丁目10番24号
TEL　052−654−8214
FAX　052−654−8215
■受付時間
休館日を除く　9：00～20：00
日曜日、祝日は9：00～17：00
（web上による先着順仮受付は24時間）
■休館日
月曜日（休日の場合は翌平日）



【交通アクセス】

・地下鉄名港線「港区役所」駅
１番出口より南へ徒歩３分

・あおなみ線「稲永」駅より、
市バス港区役所行き「港郵便局」
バス停すぐ

さまざまな公演イベント情報を配信！
mag@bunka758.or.jp
ご希望の方は携帯・PCから空メール（件名・本文なしのメール）を送って読者登録してください。
メルマガ会員募集!! ブンカなご情報 購読無料

「友の会」会員募集中！
http://www.bunka758.or.jp/

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

小さな自宅家族葬のことなら自由なお葬式へお任せください
自宅火葬式　自宅一日式　自宅家族式
0120-17-1885
故人と家族だけの尊き時間を大切に
MEIKOU SOUGI 自由なお葬式
カタチにとらわれない心のご葬送

みんなとみなとコーラスメンバー募集中!!
くわしくは港文化小劇場
(052)654-8214まで
お気軽に!!

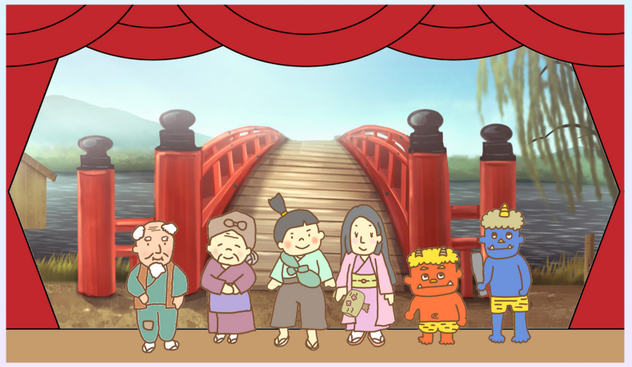
港文化小劇場情報

みんなと通信

2023年 3月



♪指に足りない一寸法師 小さいからだに大きな望 お椀の船に箸の櫂 京へはるばる登りゆく



表紙のうた

昔ばなしでも繰り返し読まれてきた一寸法師のお話。エンディングは同じでも、経緯には諸説あるらしい。そのひとつが、一寸法師が一目惚れした姫さまを自分の妻にするため、姑息な方法で三条の屋敷を追い出させるというもの。そのルーツは鎌倉時代にまで溯るといいます。作詞は童謡・桃太郎でも有名な巌谷小波（いわやさざなみ）。

「一寸法師」
作詞　巌谷小波
作曲　田村虎蔵

①指に足りない一寸法師
小さいからだに大きな望
お椀の船に箸の櫂
京へはるばる登りゆく

②京は三条の大臣殿に
抱えられたる一寸法師
法師法師とお気に入り
姫のお伴で清水へ

③さても帰りの清水坂に
鬼が一匹あらわれ出でて
食ってかかればその口へ
法師たちまち躍り込む

④針の太刀をば逆手に持って
チクリチクリと腹中突けば
鬼は法師をはき出して
一生懸命逃げて行く

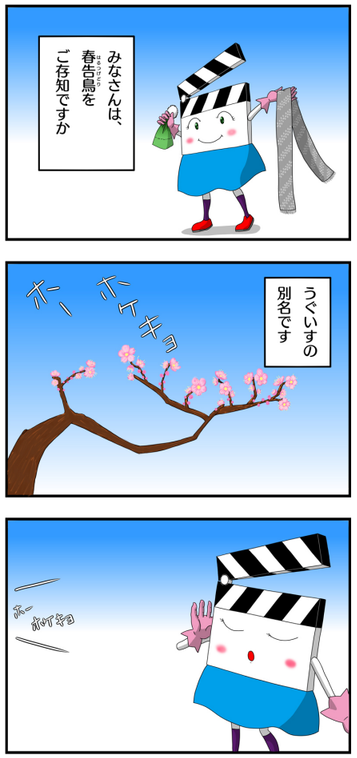
⑤鬼が忘れた打出の小槌
打てば不思議や一寸法師
一打ち毎に背が伸びて
今は立派な大男

盲導犬育成は皆様のご支援で成り立っています。
会費会員募集中！！（税額控除を受けられます。）
社会福祉法人中部盲導犬協会
電話番号：052-661-3111
http://www.chubu-moudouken.jp/

カーエンジニアの総合学校　入学生募集中！
〒455-0015　名古屋市港区港栄 1-7-12　TEL　052-653-4123
学校法人 日産学園
専門学校 日産愛知自動車大学校
港区役所駅から徒歩 1 分

映画の映子ちゃん(59)

春告鳥



©2018−2023 Minato Playhouse

スマホでアクセス

映子のお気に入り らくだい魔女

フウカと闇の魔女

シリーズ累計発行部数160万部を超えるポプラポケット文庫「らくだい魔女」の15周年を記念した劇場アニメが、2023年春休みに上映決定！魔法の国を舞台に、いつか立派な魔女になるため魔法の勉強をしている子どもたち。そんな世界で「らくだい魔女」と呼ばれるフウカが繰り広げる…大冒険と、ちょっぴり初恋の物語がはじまります。映画「らくだい魔女」は令和5年3月31日より全国ロードショー！

※感染拡大防止のため予期なく上映開始日が変更になることがあります。

© 成田サトコ・千野えなが・ポプラ社／アニメ「らくだい魔女」製作委員会

みんなとみなとのコラム



3月21日

初の国産カラー映画公開の日

港文化小劇場では「なつかしの邦画特集」と題して様々な映画を定期的に上映しています。今年度は5本の作品を上映いたしました。そのすべてはカラー作品でした。

映像がカラーであることは、今では当たり前のことですが、かつては白黒（モノクロ）しかありませんでした。現在でも白黒の映像作品は製作されていますが、それはあくまで表現や効果のために用いられていると思われます。

3月21日は「初の国産カラー映画・公開の日」です。タイトルは「カルメン故郷に帰る（主演：高峰秀子）」、松竹大船撮影所が製作し、昭和二十六年に公開されました。

それ以前のカラー映画は外国産のフィルムを用いていましたが、この作品で初めて国産（富士写真フイルム・現在の富士フイルム）のカラーフィルムを使用して製作されました。今では当たり前のカラー作品も当時の人々にとっては刺激的かつ画期的な体験だったと思います。テレビがカラーになるのは昭和三十五年、普及はずっと先となる時代の出来事です。

映画用カラーフィルムの国産化は、各方面から大変期待されていました。新聞社からの奨励金、国からの補助金や税金の免除を受けるほどに重要視されていました。

様々な援助と企業の研究開発により、ようやく完成したカラーフィルム。撮影が始まります。しかし、製作現場では困難を極めた様です。フィルム会社の技術者が撮影現場に立ち会って技術的な協力を行いながらも、製作会社は撮影が失敗した場合のことを考慮し、2回撮影を行いました。つまり、「カラーで撮影」後に「白黒でも撮影」を行いました。

無事にカラー映画として完成して公開された折にも、当時のカラーフィルムの複製（コピー）は大変手間がかかるため、封切り当初は東京・横浜・名古屋・大阪・京都でのみカラーで上映、その他の地域では白黒での上映だったそうです。両方の作品を観比べるのも面白いかもしれませんね。

来年度の港文化小劇場「なつかしの邦画特集」のラインナップでは、カラーの映画も、白黒の映画も上映の予定です。どの映画も魅力に溢れています。1年を通して劇場にぜひ足をお運び下さい。

（きしだ）

港文化小劇場から南陽地区会館へ
スプリング出前コンサート

「未来へ繋ぐ音」

令和5年3月5日(日)

会場　南陽地区会館　2階体育室
※エレベーターはございません
開場　午後1時00分
開演　午後1時30分
料金　500円（定員100名・自由席）※先着順にて販売開始
出演　海洋ゴミ楽器集団　ゴミンゾク
藤栄会　内藤千賀夢　内藤千賀茂
内藤千賀星　石黒加恩
問合　南陽地区会館 052-301-6670
港文化小劇場 052-654-8214
共同
主催　（公財）名古屋市文化振興事業団【港文化小劇場】
名古屋市南陽地区会館



みんなとみなとコーラス

会場は港文化小劇場ですよ。

3月の練習日

3/2(木),9(木)

各回16:00〜17:30

くわしくは劇場へお問い合わせ下さい。
（052）654−8214

名古屋市港文化小劇場　ホール競合受付　練習室先着受付　のご案内

港文化小劇場のホールは、文化活動を目的としたご利用の場合1年前からお申し込みが可能です。また練習室単独でのご利用の場合は、使用する月の2ヶ月前からお申し込みできます。

◆ホール競合受付　令和6年3月分：
令和5年3月1日（水）〜3月5日（日）
（期間中の休館日はございません。）
◆練習室先着受付　令和5年5月分：
令和5年3月1日午前9時より先着申し込み



皆さんは「花札」をご存じだと思いますが、花札はトランプのように数字が書かれていません。では、どの札が何なのかご存じでしょうか。今回はそれを紹介していきたいと思います。

1月　松（と鶴）
2月　梅（とウグイス）
3月　桜（とホトトギス）
4月　藤（とホトトギス）
5月　菖蒲
6月　牡丹
7月　萩（と猪）
8月　すすき（と月）
9月　菊
10月　紅葉（と鹿）
11月　柳（と小野道風）
12月　桐（と鳳凰）



ピンキリや、これっきりは花札からきた言葉とも言われているようです。

例えば、1月の「松と鶴」の組み合わせは新年が明けて縁起の良いものの組み合わせなので、何となくシックリ来ますが、12月の「桐と鳳凰」はなぜこの組み合わせなのか理解不能です。でも、花札は季節感が感じられるので、日本らしいものだと言えますよね。

3月8日(水)上映

みなとシネマ ～なつかしの邦画特集～ 残雪



雪国の恋は　はかなく……
残雪の光の中に求め合う心と心！
切々と胸うつ、舟木・松原の哀愁ロマンス!!



©日活

みなとシネマ　～なつかしの邦画特集～
「残雪」
絶唱、夕笛に続いて舟木が贈る悲恋三部作。雪国で愛し合った二人は実は兄妹である事を知り、愛の結びつきを天国でなしとげる悲恋物語。

1968年日活（カラー94分）

開催　3月8日（水）
①10時30分〜
②14時00分〜

料金　500円（全指定席）
文化小劇場ワンコイン映画のチケット半券（港・南・中村・名東・東）をご持参の方、友の会（前売りのみ）障がい者手帳等450円
※お席は1席ずつ空けてご案内させていただきます。
港文化小劇場のみ、お電話での予約を承ります。

問合　名古屋市港文化小劇場
（052）654-8214